

もくじ

はじめに 1

第1章 < MaMa の視点で災害を知る >

- 8.20 豪雨土砂災害 あのとときママたちは (体験談より) 2・3
- 災害時だからこそ必要な「こどもの安心」を考えよう 4~9
 - 1. 寝る 4・5
 - 2. あそぶ 6・7
 - 3. 食べる 8・9

第2章 < 我が家の防災ぼっけを作っておこう >

- いつやってくるかわからない! いざというときのために、できることは? 10~16
 - 1. わたしの家、まちの危険を知ろう 10~13
 - 2. 避難とは? 災害から命を守るために 14・15
 - 3. いざというときにどんなものが、必要になるのかな? 16

第3章 < いろいろな情報と助け合える仲間で減災を >

- 私たちのおすすめ 防災情報サイト・書籍の紹介 17
- 誰かとのつながりは、大切な我が子と一緒にはじめませんか? 18・19

たいせつな我が子へのメッセージ 20

おわりに 21



はじめに

2014年8月20日『広島市8.20土砂災害』より3年の月日が経ちました。大切な家族、友人、仲間、そして、思い出、日常を失ったすべての方々からお見舞い申し上げます。

自然災害による被害がテレビで報道されるたびに「防災グッズを準備したほうがいいよね」「もしものとき、どこに避難すればいいのか知っておいたほうがいいよね」と思いつつもなかなか行動に移すことはできませんでした。

そんななか起こった、広島土砂災害。広島県が土砂災害危険箇所全国一位ということを知った驚きと、母親となり、守るべき小さな愛しい命がそこにあるのに、何も備えをしていないという焦り。もしものとき、我が子を抱えて自分ができることは何なのか、不安でいっぱいになりました。

そんな不安な気持ちを語り合い、その気持ちを学びにかえ、学んだことを“ママたちの防災知恵袋”として同じ子育て世代に伝えたい!と思うようになり、この冊子づくりがスタートしました。

通勤族の多い安佐南区で暮らす子育て世代の皆さんが、「イザという時に身を守る方法を知るきっかけ」として、少しでもお役にたてると私たちはとってもうれしいです。

